

紙コップ飛ばし、演奏… 遊びに児童夢中 大学・短大がブース

子どもたちが音楽や美術の楽しさに触れたり、新しい遊びに挑戦したりする「日ようび子ども大学」が3日、岡山市北区伊島町の県生涯学習センターで開かれ、多くの家族連れ



あちこちに紙コップを飛ばして遊ぶ子どもたち

らでにぎわった。県内14大学・2短大が工学、教育といったそれぞれの専門性を生かしたブースを設置。「たぐさんの紙コップ

で遊ぼう！」をテーマにした中国短大保育学科のコーナーでは、紙コップをピラミッド型に積み上げたほか、タワーのように重ねた

後、左右に揺らしてあちこちに飛ばして遊んだ。

岡山市立津島小1年の奥野翠さん(7)は「タワーを揺らすと、シャワーのように紙コップが降ってきて面白かった」と話していた。他にも行進曲「威風堂々」を子どもの指揮に合わせて演奏するユニークな企画や、3色の塗料を混ぜ合わせ色の変化を楽しむブースもあった。

日ようび子ども大学は、県内17大学と県、岡山経済同友会で行く産学官連携組織「大学コンソーシアム岡山」などが毎年開いている。(民直弘)

山陽新聞社提供

大学コンソーシアム岡山公式 HP

<http://www.consortium-okayama.jp/index.html>